

参考

《地域包括ケアシステム構築推進事業》

各圏域の取組概要

(令和元年度版)



千葉県マスコットキャラクター
「チーバくん」

令和2年3月更新

千葉県精神保健福祉センター

目 次

圏域コーディネーターの連絡先	．．．．	1
習 志 野 圏 域	．．．．	2
船 橋 圏 域	．．．．	4
市 川 圏 域	．．．．	8
松 戸 圏 域	．．．	10
柏 圏 域	．．．	13
野 田 圏 域	．．．	15
印 旛 圏 域	．．．	17
香 取 圏 域	．．．	20
海 匝 圏 域	．．．	23
山 武 圏 域	．．．	25
長 生 圏 域	．．．	27
夷 隅 圏 域	．．．	29
安 房 圏 域	．．．	31
君 津 圏 域	．．．	33
市 原 圏 域	．．．	35

連絡先

圏域コーディネーター連絡先

圏域	氏名	所属事業所	メールアドレス
	郵便番号	住所	電話
習志野	福田 弘子	八千代地域生活支援センター	eijukai-yachiyo@nifty.com
	276-0045	八千代市大和田322-18	047-481-3555
船橋	住吉 則子	船橋市地域活動支援センター オアシス	oasisfu@apricot.ocn.ne.jp
	273-8506	船橋市北本町1丁目16番55号	047-409-2487
市川	石原 めぐみ	サンワーク相談支援事業所	porto@sunwork.biz
	272-0805	市川市大野町2-183-1	047-338-0204
松戸	江波戸 達郎	相談支援事業所サポートネット松戸	t-ebato@npo-mnet.org
	271-0077	松戸市根本141-4フローラル松戸303	047-710-2055
柏	森根 靖子	たんぽぽセンター	tanpopo2006@oboe.ocn.ne.jp
	277-0004	柏市柏下93-2	04-7160-1239
野田	小林 修	江戸川病院	kobayashi@edogawa-hp.com
	278-0022	野田市山崎2702	04-7124-5511
印旛	橋本 美枝	成田地域生活支援センター	n-shien@tea.odn.ne.jp
	286-0118	成田市本三里塚226-13	0476-35-7771
香取	小篠 篤央	香取障害者支援センター	a-ozasa@rosario.jp
	287-0101	香取市高萩1100-2	0478-79-6919
海匝	石田 和也	地域活動支援センター 友の家	tomoie@rosario.jp
	289-2513	旭市野中3820-15	0479-60-0608
山武	中西 亜紀	地域生活支援センター ゆりの木	rm504545@joy.ocn.ne.jp
	283-0802	東金市東金1060-6	0475-504545
長生	渋沢 茂	中核地域生活支援センター 長生ひなた	hinata.tyousei@lilac.plala.or.jp
	297-0073	茂原市長尾2694	0475-22-7859
夷隅	中村 淳	いすみ地域活動支援センター レインボー	shien.rainbow@sand.ocn.ne.jp
	298-0223	夷隅郡大多喜町上原786	0470-82-2220
安房	岡田 まゆみ	安房地域生活支援センター	shien@miyoshinokai.or.jp
	294-0813	南房総市谷向166-2	0470-36-4888
君津	及川 和範	ケアセンターさつき	satsuki123@mail.satsuki-kai.or.jp
	299-0246	袖ヶ浦市長浦駅前4丁目2番1	0438-60-1501
市原	阿部 康代	市原地域生活支援センターはばたき	habataki@zc.wakwak.com
	290-0054	市原市五井中央東1-15-10	0436-24-2925

障害保健福祉圏域	習志野	事業開始年度	平成 23 年度
圏域コーディネーター	福田 弘子	所属事業所名	八千代地域生活支援センター
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	12 回	開催方式	単独及び自立支援協と同時開催
地域移行・地域定着協力病院	秋元病院		
代表者会議の内容			
次年度の取組予定事業	連携体制づくりについて、具体的の実務者会議で検討する		
協議内容	実務者会議の進捗の確認。地域と医療との連携体制について・各市の防災体制、特に医療との連携体制・介護分野との連携を協議		
実務者会議の協議内容			
前年度の課題			
課題1：入院中から退院後を見据えた地域と医療の連携体制づくり。			
課題2：個人や世帯で複数の課題を抱え、複合的な支援を必要とするものへの支援。			
課題3：市域を超えた関係機関との連携を踏まえ、各市の今年度の重点を実施。			
習志野市：連携＝役割を知る。どのタイミングで誰とつながればよいかを知るため、精神科病院（市外を含む）一般科病院、障害以外を含めた地域の事業所と連携について協議。			
鎌ヶ谷市：市外病院や高齢・生活保護等を含め、事例から連携のフローチャートを考えるを課題とし協議。フローチャート作成は次年度へ。			
八千代市：精神科以外との医療や高齢・困窮の担当を含めた連携について協議。			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	株式会社あんどの取組の講演をR2年6月に延期		
ピアサポートの活用	①しのだの森ホスピタルでピアが研修 ②下総病院で体験発表 ③外部研修会へのピアの参加を後方支援		
地域移行	パンフレットを病院に配布		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院に PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	①講演会（2回） 講師：肥田先生、ACT-Ail香取氏 ②家族会定例会にて地域包括ケアシステムについて説明。 ③家族を対象に専門家（相談事業所、地域包括、市保健師、障害者就業・生活支援センター）による個別相談会実施		
その他	家族支援の①の講演会は市民にも参加を広報する		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	三橋病院 理事長 三橋 司
副会長	中核地域生活支援センターまるっと 地域総合コーディネーター菊池 謙

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	9	21
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	6	13
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン		8
そ の 他	3	
障 害 福 祉 関 係	6	19
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所	1	10
就労系事業所		1
グループホーム		
その他の事業所	3	6
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	6	6
当 事 者 お よ び 家 族	5	5
教 育	1	1
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	7	12
市 町 村	6	11
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	28	58

障害保健福祉圏域	船橋	事業開始年度	平成 16 年度
圏域コーディネーター	住吉 則子	所属事業所名	船橋市地域活動支援センター オアシス
代表者会議	2 回	開催方式	単独開催
実務者会議	3 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	千葉病院、総武病院、船橋北病院		
代表者会議の内容			
次年度の取組予定事業	前年度に引き続き、船橋圏域のアセスメント（地区診断）をし課題について協議する。		
協議内容	①今年度事業実施の経過および実務者会議の報告 ②地域アセスメント（地域診断） ③船橋圏域における課題と今後の取り組みについて		
実務者会議の協議内容			
第1回：①昨年度事業の報告・今年度事業の計画確認 ②継続事業の報告 ③地域包括ケアシステム推進課より講話 内容：「地域包括ケアシステム及び地域共生社会について」 ④今年度の本事業の取組に関する検討 ⑤情報交換等 第2回：①地域包括ケアシステム構築推進協議会設置要綱について ②住まいの確保支援に関する情報提供 ③継続事業の報告 ④今年度の取り組みについて（地区診断等）④情報交換等 第3回：①代表者会議の報告 ②継続事業の報告 ③各種データ（人口、精神医療、福祉サービスの状況等）をもとに グループワーク「船橋市の状況と課題について」 ④情報交換等 ※第4回目はコロナウイルス拡大防止のため中止。			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	・住宅支援事業所による事業説明会 参加者数：27名 講演事業所：1) 住まいるサポート船橋 2) (株)あんど 3) (株)N.フィールド		

事業内容	
事業名	詳細
ピアサポートの活用	<p>①看護学校授業への協力</p> <p>1)船橋市看護専門学校 開催回数：1回 参加人数：学生40名、先生1名、ピア4名、オアシス職員3名 内容：オアシス見学、ピアサポーター講話</p> <p>2)東京医療保健大学看護学部 開催回数：2回 参加人数：（1回目）学生53名、先生3名、ピア8名、職員4名 （2回目）学生53名、先生3名、ピア8名、職員4名 内容：当事者参加型事業（ピア講話とグループワーク）</p> <p>③ピアサポート茶話会 開催回数：3回 ※3月中に1回予定 参加人数：（1）メンバー14名、職員3名 （2）メンバー7名、職員2名 （3）メンバー10名、職員3名</p> <p>④ピアミーティング 開催回数：11回 参加人数（実人数）：ピア7名、職員3名</p> <p>⑤ピアサポート関係研修会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォローアップ研修（ピア7名、職員3名） ・ピアサポーター・スタッフ養成講座（ピア4名） ・ピアサポート交流会（ピア1名、職員1名） ・ボランティア講座見学（ピア1名）

事業内容	
事業名	詳細
地域移行関係職員 に対する研修	<p>①総武病院看護部勉強会参加 テーマ：「地域包括ケアシステム構築推進について ～地域における支援の状況～」 参加人数：67名（看護師42名、看護補助者7名、その他11名、地域事務所5名）</p> <p>②オアシスカフェinふなばしー（支援者ミーティング）開催 テーマ：「それぞれの考える共生社会」 参加人数：63名 （行政、医療機関、相談支援事業所、福祉サービス事業所等）</p> <p>③精神科病院職員を対象とした福祉施設見学会を実施 開催回数：3回 参加人数：（1）病院職員11名、ピア3名、職員3名 （2）病院職員10名、ピア3名、職員3名 （3）病院職員11名、ピア3名、職員3名 ※市内精神科3病院合同で実施</p>
家族支援	<p>①オアシス家族会とピアの交流会を開催 開催回数：2回 参加人数：（1）家族6名、ピア3名、講師1名、職員3名 （2）家族6名、ピア3名、講師1名、職員2名</p> <p>②総武病院家族交流会に参加 参加人数：家族23名、ピア3名、職員1名、病院職員6名、 実習生6名</p> <p>③船橋市保健所家族向け学習会に参加 参加人数：家族8名、ピア4名、職員1名、保健所職員2名</p>
その他	—

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	鈴木 洋文（船橋市精神保健福祉推進協議会会長）
副会長	矢口 高基（船橋市医師会理事）

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	5	4
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	4	3
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	1
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	4	9
中核地域生活支援センター		
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所		1
就労系事業所		1
グループホーム		
その他の事業所	3	6
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	
当 事 者 お よ び 家 族	1	
教 育		
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	2	2
市 町 村	1	1
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	12	15

障害保健福祉圏域	市川	事業開始年度	平成 20 年度
圏域コーディネーター	石原 めぐみ	所属事業所名	サンワーク相談支援事業所
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	4 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	中山病院、式場病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	主に入院中の精神障害者の地域移行に係る事業		
協議内容	代表者会議中止 (2/26予定)		
実務者会議の協議内容			
第1回目：①地域包括ケアシステム構築推進事業について②他圏域の取り組みについて③今年度の取り組みについて④地域移行支援事例紹介（65歳以上の長期入院ケース）⑤全体協議			
第2回目（市川市単独）：①長期入院アンケート調査結果について②事例の紹介（地域移行支援を利用し、退院後、障害と介護で連携したケース）③市川の社会資源についてグループワーク			
第3回目（浦安市単独）：①地域包括ケアシステム構築推進事業について②地域移行支援事例紹介（標準的な地域移行支援のケース）③長期入院アンケート調査結果について④浦安の社会資源についてグループワーク			
第4回目：①ReMHRAD-地域精神保健福祉資料分析データベースについて②長期入院アンケート結果におけるケースの進捗状況③長期入院の方の退院についてグループワーク			
第5回目：新型コロナウイルスの影響により中止			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	—		
ピアサポートの活用	—		
地域移行	圏内2病院に対し、長期入院者の退院ニーズアンケートを実施。		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	①中山病院の院内研修にて、地域移行支援について経験者と支援者の経験談の発表。（参加者：24名） ②圏域内の病院スタッフ向けに、障害福祉サービス事業所(市内3法人の事業所) 見学会の実施。（参加者：28名） ③指定一般相談支援事業所と、地域包括のスタッフを対象に、精神疾患と地域移行について研修会の実施。（参加者：29名）		
家族支援	—		
その他	—		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	式場病院 院長 式場 隆史
副会長	サンワーク 統括管理者 酒井 範子

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	9	3
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	6	3
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン		
そ の 他	3	
障 害 福 祉 関 係	5	11
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター	2	2
相談支援事業所		8
就労系事業所		
グループホーム		
その他の事業所	2	
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	2	0
当 事 者 お よ び 家 族	2	
教 育		
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	4	7
市 町 村	3	6
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	20	21

障害保健福祉圏域	松戸	事業開始年度	平成 21 年度
圏域コーディネーター	江波戸 達郎	所属事業所名	サポートネット松戸
代表者会議	2 回	開催方式	単独開催
実務者会議	5 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	恩田第二病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	家族支援について、ピアサポート活動の周知、支援者同士の関係づくり、地域活動支援センターの利用調査を深める		
協議内容	実務者会議の報告をし、その中であげられた課題や今年度実施しきれなかった課題について抽出及び考察を行った。代表者委員からの情報提供を受け、来年度の取り組み内容について検討した。		
実務者会議の協議内容			
<p>《第1回》</p> <p>昨年度の代表者会議からの課題としてピアサポートと事例検討会の実態調査が上げられ、メーリングリストにて調査を実施。その他、実務者委員より、「家族支援に基づく普及啓発活動」「ピアサポーターの活用」「精神科へ繋がるためのフローチャートの作成」等があげられた。</p> <p>《第2回》</p> <p>代表者会議の内容の共有を図り、「地域～入院～地域へのフローチャートの作成」が今年度のテーマとなった。地域と医療の立場の違いを活かしどのように地域で支えていくかの可視化を図るため医療班と地域班に分かれ、討議を行った。</p> <p>医療班：精神科医療・入院治療・外来治療の可視化を図る。精神科病院や訪問看護との横のつながりを構築。</p> <p>地域班：各市の地域活動支援センターの利用調査。地域～医療～地域へ移行時の役割分担や連携の難しさについて。</p> <p>《第3回》</p> <p>医療班：精神科病院の一般的な説明、家族ニーズの聞き取り、ピアサポーター活動やグループホームについて広く知ってもらうための院内研修会。</p> <p>地域班：地域に必要なサービスがあると安心か、合併症や緊急時（精神疾患以外）に対応できる医療機関、当事者及び家族へのサポート</p> <p>《第4回》</p> <p>医療班：研修の場を活用しての意見交換会について（来年度以降検討）。家族会へ参加しニーズの聞き取りを行う。ピアサポートについて知ってもらう。</p> <p>地域班：地域活動支援センターの利用調査結果から親の高齢化に伴う介護等の課題など将来考えられる課題へのアプローチを模索する。</p> <p>来年度の活動予定として「家族支援について」「ピアサポート活動の周知」「支援者同士の関係づくり」「地域活動支援センターの利用調査について深める」以上4点が上げられた。</p> <p>《第5回》</p> <p>3月19日実施予定。</p>			

事業内容	
事業名	詳細
住まいの確保支援	—
ピアサポートの活用	ピアサポートの状況把握のためのアンケートを実施。
地 域 移 行	相談支援事業所へフォローアップを行う。
構 築 状 況 の 評 価	—
地域移行関係職員 に 対 す る 研 修	障害福祉サービス事業所(ワーナーホーム) 見学会を実施。秋元病 院PSW対象に地域移行について研修を実施。
家 族 支 援	家族会へニーズ調査を実施。
そ の 他	—

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	恩田第二病院 院長 太田 克也
副会長	地域生活支援センターすみれ センター長 倉重 寛子

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	2	1
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	1	1
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	6	5
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所		1
就労系事業所	1	1
グループホーム		
その他の事業所	3	1
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	4	2
当 事 者 お よ び 家 族	4	2
教 育		
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	4	3
市 町 村	3	3
健康福祉センター(保健所)	1	
警 察 関 係		
合 計	16	11

障害保健福祉圏域	柏	事業開始年度	平成 23 年度
圏域コーディネーター	森根 靖子	所属事業所名	たんぽぽセンター
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	5 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	初石病院、手賀沼病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置等		
協議内容	前年度報告した柏市の地域課題に対する、今年度の取り組み及び具体策について		
実務者会議の協議内容			
<p>・「保健医療面」、「障害福祉面」各々からみた柏市の地域課題について、具体策の検討を実施。重点課題として「医療」「障害福祉・介護」「地域の助け合い・教育」より行うこととした。</p> <p>・地域の相談員・行政職員・病院職員・訪問看護師・包括センター職員が混じりあうグループ構成でのグループワークを実施。</p> <p>・柏市の地域課題抽出と取り組みへのロードマップの作成を実施。</p>			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	相談部会、くらし部会合同で住まいの課題について勉強会を開催。		
ピアサポートの活用	①手賀沼病院で交流会を開催（年5回）。 ②東葛圏域ピアサポート交流会を開催（年3回）。		
地域移行	—		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム)見学会を実施。秋元病院に対する研修を実施。		
家族支援	家族会を実施（年1回）		
その他	—		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	初石病院 院長 唐崎 三千代
副会長	地域生活支援センターあおば 関口 篤行

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	6	5
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	5	2
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	3
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	3	7
中核地域生活支援センター		
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所	1	5
就労系事業所		
グループホーム		
その他の事業所	1	1
その他の関係機関団体	2	1
当事者および家族	1	
教 育		
地域の助け合い等	1	1
行 政 関 係	5	3
市 町 村	4	2
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	16	16

障害保健福祉圏域	野田	事業開始年度	平成 30 年度
圏域コーディネーター	小林 修	所属事業所名	江戸川病院
代表者会議	1 回	開催方式	連絡協議会と同時開催
実務者会議	5 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	—		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	野田圏域精神保健福祉マップの作成／研修会の実施		
協議内容	野田圏域精神保健福祉連絡協議会との同時開催という形で実施。 実務者会議で得られた地域での課題と来年度取組予定事業を提案し、 地域課題に対する意見、及び来年度取組予定事業の実施承認を得た。		
実務者会議の協議内容			
野田圏域精神保健福祉マップの作成と圏域内での事業所の取組などの情報交換を中心に議論を展開。マップ作成の過程や情報交換の中で新たに浮かび上がった圏域の状況や課題などに関してさらに議論を深め、現状認識と来年度展開すべき事業を代表者会議に報告、提案した。			
事業内容			
事業名		詳細	
住まいの確保支援		—	
ピアサポートの活用		—	
地 域 移 行		—	
構築状況の評価		—	
地域移行関係職員に関する研修		障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 PSW対象に地域移行について研修を実施。	
家 族 支 援		—	
そ の 他		精神保健福祉マップを作成。 圏域内社会資源をまとめた冊子を作成。20の事業所、病院など事業所から協力を得て作成し配布。	

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	江戸川病院 院長 小池 健
副会長	野田健康福祉センター(保健所) センター長 松本良二

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	3	3
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン そ の 他	3	3
障 害 福 祉 関 係	6	8
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター		
相談支援事業所	1	2
就労系事業所		1
グループホーム		1
その他の事業所	4	3
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	5	
当 事 者 お よ び 家 族 教 育	3	
地 域 の 助 け 合 い 等	2	
行 政 関 係	5	2
市 町 村	4	1
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係	1	
合 計	20	13

障害保健福祉圏域	印旛	事業開始年度	平成 20 年度
圏域コーディネーター	橋本 美枝	所属事業所名	成田地域生活支援センター
代表者会議	1 回	開催方式	連絡協議会から移行
実務者会議	4 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	聖マリア記念病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	①災害時支援(仮) ②ピアサポートの活用(仮) ③家族支援(仮) ④アウトリーチ支援(仮)		
協議内容	代表者会議にて、9市町から地域包括ケアシステムの現状、課題、展望を報告・共有し、圏域の共通課題を実務者会議で検討していくこととした。令和2年度の代表者会議で、印旛圏域の共通課題を事務局案として上記①から④を提案予定。		
実務者会議の協議内容			
代表者会議で圏域の課題とされた「住居の確保」「精神障害に対する住民理解の不足」「家族支援」「ピアサポートの活用」について協議や研修会を行った。第一回目では ReMHRADやNDBを用いて圏域の現状を知り、第二回目では家族の求める支援の現状と課題について家族会からの報告を受け、第三回目では住宅確保要配慮支援法人の講演を通して、多様な住まいの確保支援を学んだ。第四回目ではピアサポートの活用について、雇用する側と雇用される側のシンポジウムを行い、ピアサポーター派遣事業について検討を実施した。また、精神障害の理解を深める為に、厚生労働省障害福祉専門官・地域移行専門官による講演会を実施した。他にも、台風15号などによる各市町の災害時の対応についての状況報告を行った。			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	多様な居住支援を紹介し、今後の住まいの確保に繋げるために、住宅確保要配慮支援法人の講演を開催。35名参加。		
ピアサポートの活用	①代表者会議及び実務者会議へのピアサポーター（1回5名）とピアスタッフ（1名3回）の参加 ②精神科病院の職員を対象とした講話にピアサポーターを1名2回派遣。看護師等49名参加 ③自助グループの毎月の定例会でのコーディネート支援 ④入院患者とピアサポーターとの交流会を1回実施。入院患者4名、ピアサポーター7名参加 ⑤ピアの雇用を促進するため「ピアサポートの活用」について、雇用する側と雇用される側のシンポジウムを実施。ピアサポーター1名、ピアスタッフ1名派遣。31名参加 ⑥ピアサポーター派遣事業について検討。		

事業内容	
事業名	詳細
地域移行	<p>①印旛圏域内の地域移行支援の新規利用者8名、前年度から繰越ケース（継続）3名、退院5名。</p> <p>②精神科の病院職員を対象とした地域の福祉施設見学を1回実施。2名参加。</p>
構築状況の評価	<p>①実務者会議でReMHRADやNDBを活用してグループワークを行い、圏域の各市町における入院患者の把握や現状分析を実施。</p> <p>②代表者会議で圏域の課題を挙げ、実務者会議で活動を実施。代表者会議で進捗状況の評価を受け、次年度の事業活動に活かす。</p>
地域移行関係職員に対する研修	<p>①介護保険ケアマネ等に対する精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの講義を1回実施。6名参加。</p> <p>②精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの普及啓発を目的に、厚生労働省障害福祉専門官・地域移行支援専門官による講演会を実施。53名参加。</p>
家族支援	<p>圏域内の家族会から、家族の求める在宅支援の現状と課題についての報告とグループワークを1回実施。39名参加。(内、7家族会10名参加)</p>
その他	<p>①淑徳大学生に対する精神疾患の理解を深める為の講話を実施。ピアスタッフ1名、ピアサポーター1名を派遣。大学生14名参加。</p> <p>②災害の情報共有の為の会議を1回開催。</p> <p>③圏域内自治体への災害情報提供及び助言。</p>

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	印旛健康福祉センター(保健所) センター長 佐久間 文明
副会長	成田赤十字病院 精神神経科部長 齊賀 孝久 かぶらぎ会 会長 大賀 四郎

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	5	8
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	5	7
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	0	1
そ の 他	0	0
障 害 福 祉 関 係	4	16
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所	2	8
就労系事業所	0	1
グループホーム	0	1
その他の事業所	0	4
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	2	9
当 事 者 お よ び 家 族	2	8
教 育	0	1
地 域 の 助 け 合 い 等	0	0
行 政 関 係	10	10
市 町 村	9	9
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係	0	0
合 計	21	43

障害保健福祉圏域	香取		事業開始年度	平成 24 年度
圏域コーディネーター	小篠 篤央		所属事業所名	香取障害者支援センター
代表者会議	1 回	*実務者会議前5 回会議(圏域 Co.、基幹、1市 3町、保健所)	開催方式	単独開催
実務者会議	4 回		開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	—			
代表者会議の協議内容				
次年度の取組予定事業	「住まいの確保支援」「ピアサポートの活用」「地域移行関係職員の研修」「自立支援協議会との連携」の評価と次年度方針の決定			
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築推進事業設置要綱について ・事業説明/地域移行・地域定着協力病院について ・実務者会議の取り組み報告 <p>(1年間の取り組み状況と実務者会議の成果、地域の課題を共有し、来年度の取り組み方針について決定する。)</p>			
実務者会議の協議内容				
<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの確保支援は、相談実績の共有と不動産屋へのアンケート調査、交流会の開催を中心に協議を行う。また、賃貸住宅に関する既存の制度活用について検討する。 ・ピアサポートの活用は、ピアサポーター希望者向けの講座を開催する。また、ピアの活動場所の拡充に向けて、委員への意識調査をアンケート形式で行う。 ・その他、地域移行支援を活用した事例の振り返りや災害被害に伴う対策と課題等について地域自立支援協議会と共有している。今年度は台風災害の影響により、実務者会議の実施は随時予定を変更し実施、開催を予定していた地域資源の見学会は中止とし、不動産屋との交流会は予定を延期して、別日で開催する。 				
事業内容				
事業名	詳細			
住まいの確保支援	<p>①住まいの相談実績の調査を実施。 (中核地域生活支援センターと基幹相談支援センター)</p> <p>②不動産屋との交流会「香取圏域精神障害のある方の住まいを考える交流会」を開催する。</p> <p>参加者：17名(地域の不動産屋4か所、千葉県住宅課、委員)</p> <p>内容：香取圏域の住まいの相談実績の共有、アンケート調査、グループワーク(賃貸時に必要な事・不動産屋が安心して賃貸できる仕組みや体制に必要なこと。)住宅セーフティネット制度について/グループホーム制度について</p>			

事業内容	
事業名	詳細
ピアサポートの活用	<p>①ピアサポート講座を2回実施。</p> <p>令和2年2月4日：ピアサポートの基本理念 ～リカバリーとストレスングスについて～ 講師：元香取健康福祉センター根本氏／I C H IーJ O小沢氏 参加者：15名</p> <p>令和2年2月14日：コミュニケーションスキルについて 講師：株式会社M A R S中田氏、ひだクリニック櫻木氏 参加者：6名</p> <p>②活躍の場の確保についてアンケート調査。</p>
地域移行	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 PSW対象に地域移行について研修を実施。
構築状況の評価	—
地域移行関係職員に対する研修	<p>①地域生活支援拠点をテーマとした研修会を開催。</p> <p>講師：日本相談支援専門員協会顧問 福岡 寿 氏</p> <p>②入院患者や病院職員を対象とした障害福祉サービス事業所の見学会を予定していたが、台風災害のため中止。</p>
家族支援	—
その他	昨年の台風15号、台風19号、台風21号による大雨の災害被害時の課題について意見を集約し、地域自立支援協議会へ共有する。

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	香取障害者支援センター 所長 辻内 沙由里
副会長	香取健康福祉センター(保健所) センター長 井元 浩平

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	4	4
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	3	2
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	2
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	2	6
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター	1	1
相談支援事業所		2
就労系事業所		1
グループホーム		1
その他の事業所		
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	2
当 事 者 お よ び 家 族	1	1
教 育		
地 域 の 助 け 合 い 等		1
行 政 関 係	5	5
市 町 村	4	4
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	12	17

障害保健福祉圏域	海匝	事業開始年度	平成 18 年度
圏域コーディネーター	石田 和也	所属事業所名	地域生活支援センター友の家
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	4 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	旭中央病院、京友会病院、藤田病院、海上寮療養所		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	ピアサポートの活用、地域課題について		
協議内容	<p>国内や海匝圏域のデータを比較し、なぜ地域包括ケアが必要とされているかを要点として事業説明し、また包括ケアシステム構築会議の取組状況の報告を行った。</p> <p>協議においてはピアサポートの活用と実務者協議からの課題について参加者から意見をいただく。その中で課題や〇〇ができないということに目を向けるだけでなく海匝地域の強みに着目してそれを強化して行くことが大切との意見が出た。強みを生かした地域支援の流れを来年度以降の実務者会議で精査し取り組んでいくこととなった。</p>		
実務者会議の協議内容			
<p>・今年度においては台風による自然災害、コロナウィルスによる感染症対策などで2回会議が急遽中止となっている。その中で前年の代表者会議で方向性として示された、定例のピアサポーターによる個別相談が、3市の中で2市で実施できており、また残りの1市も体制を整える取り組みを行っている。病院への派遣も毎月行えるようになり、一定の成果を上げることができている。</p> <p>・職員の研修等は事例検討や視察を行い見識を広めていく予定だった。視察はコロナウィルスの影響で中止となってしまった。</p> <p>・来年度はピアサポートの活用と体制の整備に取り組んでいく。また地域課題の中で海匝の強みを生かした地域資源の取り組みを行っていくこととした。</p>			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	—		
ピアサポートの活用	海上寮療養所及び京友会病院へピアサポーターを派遣。 実務者会議、代表者会議に参加。		
地域移行	—		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	家族教室を実施。		
その他	—		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	地域生活支援センター 友の家 所長 辻内沙由里
副会長	海匠健康福祉センター(保健所) センター長 鎗田和美

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	3	5
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン そ の 他	3	5
障 害 福 祉 関 係	5	5
中核地域生活支援センター 基幹相談支援センター 相談支援事業所 就労系事業所 グループホーム その他の事業所	1 1 2 1	1 1 2 1
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	2
当 事 者 お よ び 家 族 教 育 地 域 の 助 け 合 い 等	1	2
行 政 関 係	4	4
市 町 村 健康福祉センター(保健所)	3 1	3 1
警 察 関 係		
合 計	13	16

障害保健福祉圏域	山武	事業開始年度	平成 20 年度
圏域コーディネーター	中西 亜紀	所属事業所名	地域活動支援センターゆりの木
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	7 回	開催方式	研究会・部会と同時開催
地域移行・地域定着協力病院	浅井病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	住まいの確保支援、家族支援、ピアサポート、職員研修		
協議内容	事業実績報告、実務者会議の構成機関・団体報告、次年度における事業計画案、山武圏域の障害福祉サービスの実態報告、ピアグループ・山武、夷隅、長生圏域合同ピアサポート交流会について、地域移行支援事業と地域定着支援事業の現状について、圏域の現状と課題、講演：「高齢者に関する地域包括ケアシステムの実際と課題について」山武市成東地域包括支援センター・管理者 栗原由美子氏		
実務者会議の協議内容			
5/17講演会「認知行動療法で心の健康づくり」千葉大学子供のごころ発達教育研究センター 田中麻里氏、31名参加、7/19講演会「精神障害者の基礎知識」藤田病院 副院長 畑達記氏、39名参加、9/19講演会「家族支援～その人なりの子育てをどう考えるか～」千葉県発達障害者支援センターCAS 副センター長 田熊立氏、33名参加、活動：1部で行ったグループワーク議題「圏域の社会資源を考える、長期入院者の退院支援について、就労支援について、グループホームについて」より地域課題を検討し支援者間のネットワーク構築を強化。また、山武圏域における福祉サービスの質の向上を図る為、各機関との勉強会・講演会の協力。圏域の福祉サービス事業所一覧の作成を検討。			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	障害福祉サービス事業所のグループホーム4棟の立ち上げに協力。		
ピアサポートの活用	毎月1回のピアグループの開催。山武・長生・夷隅圏域合同ピアサポート交流会の事務局として開催支援。浅井病院デイケアでのピアグループ活動を支援。		
地域移行	3名（2名グループホーム入所、1名自宅退院）		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワーカーホーム)見学会を実施。秋元病院に対する研修PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	毎月1回の家族会会合に参加、講演会・勉強会の協力		
その他	自立支援協議会との連携、毎月の事務局会議への参加等		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	山武健康福祉センター(保健所) センター長 池田 凡美
副会長	浅井病院 理事長 浅井 禎之/ワナーホーム 理事長 寺田 一郎

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	2	2
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン そ の 他	2	2
障 害 福 祉 関 係	5	40
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター		
相談支援事業所	2	16
就労系事業所	1	4
グループホーム		4
その他の事業所	2	15
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	1
当 事 者 お よ び 家 族 教 育 地 域 の 助 け 合 い 等	1	1
行 政 関 係	7	12
市 町 村	6	11
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	15	55

障害保健福祉圏域	長生	事業開始年度	平成 24 年度
圏域コーディネーター	渋沢 茂	所属事業所名	長生ひなた
代表者会議	1 回	開催方式	単独
実務者会議	11 回	開催方式	精神部会と同時開催
地域移行・地域定着協力病院	—		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	地域包括ケアシステム構築推進事業		
協議内容	地域包括ケアシステム構築推進事業の実績と今後の取り組みについて		
実務者会議の協議内容			
事例検討、圏域の現状と課題の共有。			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	5月の実務者会議で情報提供と意見交換を行った。		
ピアサポートの活用	当事者活動支援を実施（年4回）。		
地域移行	11月22日に茂原神経科病院を訪問。入院患者への説明会を行った。 地域移行支援についてR1年度の実績は7件。		
構築状況の評価	代表者会議にて進捗状況を評価した。		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 に対する研修 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	個別支援にて家族支援を実施した。		
その他	普及啓発のための映画会を毎年開催（今年度はコロナ対応のため中止）		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	長生健康福祉センター(保健所) センター長 大野 由紀子
副会長	鈴木神経科病院 理事長 鈴木 秋彦

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	3	3
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	2	2
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	1
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	4	11
中核相談支援センター	1	1
基幹相談センター		
相談支援事業所	2	3
就労系事業所	2	4
グループホーム		3
その他の事業所		1
その他の関係機関団体	2	4
当事者および家族	1	2
教 育		
地域の助け合い等	1	2
行 政 関 係	9	8
保 健 所	8	7
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	18	26

障害保健福祉圏域	夷隅	事業開始年度	平成 22 年度
圏域コーディネーター	中村 淳	所属事業所名	いすみ地域活動支援センター レインボー
代表者会議	1 回	開催方式	連絡協議会と共同開催
実務者会議	6 回	開催方式	自立支援協と同時開催
地域移行・地域定着協力病院	大多喜病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	高校生向け普及啓発事業、ピアサポートプログラム		
協議内容	<p>①今年度の事業報告及び次年度以降の実施内容の協議</p> <p>②高校生向け普及啓発事業は次年度も継続。また3年以内に圏域内すべての高校での実施を目標とする。</p> <p>③今年度より開始したピアサポートミーティングは今後も継続。雇用の場の創出や退院支援、デイケア参加等の協力を得る。</p> <p>④地域資源マップ作成について報告。紙ベースでの配布及び市役所ホームページ等での公開について了承を得た。</p>		
実務者会議の協議内容			
<p>①普及啓発事業 圏内高校にて、保健体育の授業で精神障害（統合失調症）について、圏域内看護師とピアサポーターによる講義を行う。参加者は生徒数120名。</p> <p>②ピアサポートミーティングについて 今年度より、圏域内各市町村の公民館等を利用し、地域包括支援センターにてピアサポートミーティングを毎月1回実施。保健所との共同で地活主催にて行い、自市長村開催の時には当該市職員も参加。</p> <p>③事例検討会</p> <p>④ピアサポートを行う上での支援技法講座（WRAP） 参加者は各回25名程度。講師を招いた講演会を実施。</p>			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	—		
ピアサポートの活用	ピアサポーターを講師とした職員向けの研修会や普及啓発事業		
地域移行	—		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院に 対 する 研 修 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	障がい福祉サービス事業所（就労系、居住系）の説明会を実施。家族会の参加は12名、事業所参加は20名程度であった。		
その他	<p>①社会資源マップを作成。</p> <p>②高校にてピアサポーターによる講演（体験談）を実施。</p>		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	いすみ地域活動支援センターレインボー 管理者
副会長	夷隅健康福祉センター センター長

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	1	3
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン そ の 他	1	3
障 害 福 祉 関 係	7	20
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター		
相談支援事業所	1	3
就労系事業所	1	4
グループホーム	1	5
その他の事業所	3	7
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	3	2
当 事 者 お よ び 家 族	3	1
教 育		1
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	5	5
市 町 村	4	4
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係	3	
合 計	19	30

障害保健福祉圏域	安房	事業開始年度	平成 19 年度
圏域コーディネーター	岡田 まゆみ	所属事業所名	安房地域生活支援センター
代表者会議	1 回	開催方式	連絡協議会から移行
実務者会議	11 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	田村病院・東条メンタルホスピタル		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	在宅の高齢精神障害者への取り組み		
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・安房圏域における保健・医療・福祉の現状と課題について (サービス事業所の不足、グループホームの空き状況、関係機関との連携主に高齢福祉の方との連携について) ・安房地域における高齢精神障害者への関わりについて 		
実務者会議の協議内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・各医療機関の対象者のケース検討 ・地域の社会資源の情報交換 ・地域の社会資源の見学 ・地域包括ケアシステムの研修 ・高齢者地域包括ケアの仕組みについての勉強会 ・台風等における被害の状況並びに災害対策について 			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	—		
ピアサポートの活用	—		
地域移行	病院内の従事者並びに入院患者に向けた啓発活動を実施。		
構築状況の評価	—		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	—		
その他	民生委員へ啓発活動並びに地域ケア会議(精神障害者の理解) 高齢者地域包括ケアの仕組みの勉強会 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムについての研修(厚生労働省) 21名		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	館山メンタルクリニック 院長 渡辺 啓治
副会長	安房健康福祉センター(保健所) センター長 野田秀平

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	9	5
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	8	5
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン	1	
そ の 他		
障 害 福 祉 関 係	17	1
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター		
相談支援事業所	1	
就労系事業所	3	
グループホーム		
その他の事業所	12	
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	1
当 事 者 お よ び 家 族	1	
教 育		1
地 域 の 助 け 合 い 等		
行 政 関 係	5	5
市 町 村	4	4
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係	2	
合 計	34	12

障害保健福祉圏域	君津	事業開始年度	平成 23 年度
圏域コーディネーター	及川 和範	所属事業所名	ケアセンターさつき
代表者会議	1 回	開催方式	連絡協議会と同時開催
実務者会議	5 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	木更津病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	地域移行を主体として各事業にも取り組む。		
協議内容	<ul style="list-style-type: none"> ・実務者会の開催状況 ・地域移行の取り組み状況 ・地域移行と計画相談の報酬比較 ・君津圏域の2018年度630調査結果 ・病院からの状況報告 		
実務者会議の協議内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・地域移行に係る取り組み状況 ・事例検討 ・実務者研修会 ・グループホーム等の情報提供について ・ピアサポート交流事業について 			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	実務者会議内にて、グループホーム空き状況や新規施設の動向等について情報提供や意見交換を行い、入居支援に活用した。		
ピアサポートの活用	—		
地域移行	地域移行支援事業の利用 (利用者4人(継続2件、新規2件)、うち2名退院)		
構築状況の評価	代表者会議で活動実績の報告を行い評価を受けた。		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワーカーホーム) 見学会を実施。秋元病院に 対 する 研 修 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	実務者会議内にて、意見交換などを行い支援した。		
その他	ピアサポート交流事業の事務局として事業を実施した。		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	木更津病院 院長 関根 博
副会長	つくし会 会長 国分 栄樹

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	5	7
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク 訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン そ の 他	5 1	6 1
障 害 福 祉 関 係	8	8
中核相談支援センター 基幹相談センター 相談支援事業所 就労系事業所 グループホーム その他の事業所	1 7	1 7
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	1
当 事 者 お よ び 家 族 教 育 地 域 の 助 け 合 い 等	1	1
行 政 関 係	5	5
市 町 村 保健福祉セター(保健所)	4 1	4 1
警 察 関 係	3	
合 計	22	21

障害保健福祉圏域	市原	事業開始年度	平成 21 年度
圏域コーディネーター	阿部 康代	所属事業所名	市原地域生活支援センターはばたき
代表者会議	1 回	開催方式	単独開催
実務者会議	6 回	開催方式	単独開催
地域移行・地域定着協力病院	市原鶴岡病院、磯ヶ谷病院		
代表者会議の協議内容			
次年度の取組予定事業	(4) 入院中の精神障害者の地域移行に係る事業 (5) 包括ケアシステム構築状況の評価に係る事項 (6) 精神障害者の地域移行関係職員に対する研修に係る事業 (8) その他の事項 地域生活支援拠点の設置について(災害時対応含む)		
協議内容	精神科医療等の現状についての報告、令和元年度市原圏域の活動実施報告及び評価、令和 2 年度市原圏域の今後の方針		
実務者会議の協議内容			
今年度の目標等について及び代表者会議から提案された検討事項について 他圏域の活動状況及び今後の予定について 市原圏域における構築推進事業を展開するにあたって 代表者会議へボトムアップする事柄等について 精神科病院の長期入院から地域移行をした事例から考えること 代表者会議の報告 他圏域の精神障害にも対応した地域包括ケアシステムに関する情報等について 精神科病院での地域移行関係職員に対する研修の報告 他圏域の精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業の状況について 今年度の振り返りと来年度の計画について			
事業内容			
事業名	詳細		
住まいの確保支援	転居希望対象者に対し、不動産業者とのマッチング及び連絡調整や契約等の支援を実施		
ピアサポートの活用	研修会においてピアの体験談の講話、フェスタにて登壇の場を設ける、ピア養成にかかる実習支援		
地域移行	精神科病院主催の地域連携会議に出席し、情報共有を行う		
構築状況の評価	圏域内の精神科病院入院者数等や社会資源について整理 病院職員に対し退院支援についての意識調査を実施		
地域移行関係職員に対する研修	障害福祉サービス事業所(ワナーホーム) 見学会を実施。秋元病院 PSW対象に地域移行について研修を実施。		
家族支援	家族会が中心となって運営している事業所への後方支援		
その他	市原市精神保健福祉フェスタ開催 圏域内グループホーム運営にかかる支援 自立支援協議会での精神障害部会の設置の呼びかけ		

【代表者会議における会長および副会長】

会 長	市原鶴岡病院 院長 野田 慎吾
副会長	市原健康福祉センター(保健所) 所長 影山 育子

【代表者会議および実務者会議参加機関表】

区 分	代表者 会議	実務者 会議
医 療 関 係	6	2
病 院 ・ ク リ ニ ッ ク	4	2
訪 問 看 護 ス テ ー シ ョ ン		
そ の 他	2	
障 害 福 祉 関 係	3	5
中核地域生活支援センター	1	1
基幹相談支援センター		
相談支援事業所		
就労系事業所	1	1
グループホーム		
その他の事業所	1	3
そ の 他 の 関 係 機 関 団 体	1	0
当 事 者 お よ び 家 族 教 育		
地 域 の 助 け 合 い 等	1	
行 政 関 係	4	3
市 町 村	3	2
健康福祉センター(保健所)	1	1
警 察 関 係		
合 計	14	10